

【上書きの例】

別表5の区分名が一致する項目の金額が上書きされます。(ただし、複写元の金額が0円の場合を除く。)

【複写前】 複写元：前期の留保 2 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分名</th><th>期末</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>別表4：棚卸資産計上漏れ</td><td></td></tr> <tr> <td>別表5：棚卸資産</td><td>100,000</td></tr> </tbody> </table>		区分名	期末	別表4：棚卸資産計上漏れ		別表5：棚卸資産	100,000
区分名	期末						
別表4：棚卸資産計上漏れ							
別表5：棚卸資産	100,000						
一致	複写先：当期の留保 2						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分名</th><th>期首</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>別表4：棚卸資産計上漏れ</td><td></td></tr> <tr> <td>別表5：棚卸資産</td><td>120,000</td></tr> </tbody> </table>	区分名	期首	別表4：棚卸資産計上漏れ		別表5：棚卸資産	120,000
区分名	期首						
別表4：棚卸資産計上漏れ							
別表5：棚卸資産	120,000						
	上書き						
【複写後】 複写先：当期の留保 2 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分名</th><th>期首</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>別表4：棚卸資産計上漏れ</td><td></td></tr> <tr> <td>別表5：棚卸資産</td><td>100,000</td></tr> </tbody> </table>		区分名	期首	別表4：棚卸資産計上漏れ		別表5：棚卸資産	100,000
区分名	期首						
別表4：棚卸資産計上漏れ							
別表5：棚卸資産	100,000						
	上書き後						

【追加の例】

別表5の区分名が一致しない項目は追加されます。

【ご注意】区分名は異なるが、同じ項目が二重になった場合

前期に否認された金額を当期に全額認容する場合で、複写元と複写先の区分名が一致していないときは、複写処理を行った結果、複写先の2行目に金額が複写されます。そのため、複写処理後に追加された2行目を削除してください。

【複写前】

複写元：前期の留保 2

行	区分名	期首	減	増	期末
1	別表4：棚卸資産計上漏れ 別表5：棚卸資産			300	300

複写先：当期の留保

行	区分名	期首
1	別表4：棚卸資産計上漏れ認容 別表5：棚卸資産(前期分)	300
2		

不一致

追加

【複写後】

複写先：当期の留保 2

区分名	期首
別表4：棚卸資産計上漏れ認容 別表5：棚卸資産(前期分)	300
別表4：棚卸資産計上漏れ 別表5：棚卸資産	300

複写後に削除

【同じ区分名が2行以上ある例】

複写元の別表5(1)の区分名が一致する行の金額を合計し、複写元の別表5(1)の区分名と一致する複写先の行のうち金額が入力されている行に、当該合計額が複写されます。(ただし、複写元の合計額が0円の場合を除く。)

なお、別表5(1)の区分名が一致する行のうち、「期首」欄に金額が入力されている行が2行以上ある場合は、複写先の先頭行に金額が複写されます。

【複写前】

複写元：前期の留保 2

行	区分名	期首	減	増	期末
1	別表4：退職給付引当金認容 別表5：退職給付引当金	500	100		400
2	別表4：退職給付引当金否認 別表5：退職給付引当金			200	200

複写元：当期の留保 2

行	区分名	期首
1	別表4：退職給付引当金否認 別表5：退職給付引当金	
2	別表4：退職給付引当金認容 別表5：退職給付引当金	650

区分名が一致する行のうち、
金額がある行へ複写

【複写後】

複写先：当期の留保 2

区分名	期首
別表4：退職給付引当金否認 別表5：退職給付引当金	
別表4：退職給付引当金認容 別表5：退職給付引当金	600

上書き後

別表5の区分名(退職給付引当金)
が一致する行の金額を合計(600)